



九州大学伊都キャンパス

「国立大学法人九州大学」様から 衛星搭載用光学ユニットを受注！

この度、明星電気は国立大学法人九州大学様から衛星搭載用光学ユニット(以下、カメラ)を受注致しました。

本カメラは、文部科学省の平成21年度超小型衛星研究開発事業において採択された「地球観測などに用いる汎用超小型人工衛星システムの開発」で開発される、「超小型地球観測システム実証衛星(QSAT-EOS)」に搭載される予定です。

本衛星の主たる地球ミッションは、局地的に発生する気象災害監視のために、高い空間分解能を有する地上画像を取得することです。

これにより災害の発生する前と災害発生時の差分をとり、発生した災害の様子や規模を調べることができます。

カメラの性能は、軌道高度700kmにおいて直下視した場合の地上分解能が10m以下となっております。

明星電気の技術は、宇宙からの災害監視に寄与することを目指します。

(当社営業担当:第一営業部 小林 忍、九州支店 池尻 秀人)



科学技術振興機構

科学技術振興機構に 「二酸化炭素自動測定器の実用化開発」が採用！

明星電気が独立行政法人科学技術振興機構(JST)の産学イノベーション加速事業【先端計測分析技術・機器開発】平成22年度新規開発課題の、プロトタイプ実証・実用化プログラムに申請していた、「世界標準をめざした光学的二酸化炭素自動測定器の実用化開発」が採用されました。

本プログラムは、大学や独立行政法人、国公立試験研究機関、民間企業などから240件の応募に対して採用された29件の中の1つです。

従来大気中の二酸化炭素濃度を測定する方法としては、衛星「いぶき」にも搭載されているフーリエ分光器を使用していましたが、高額であり設置や維持が大変でした。これに対し本機器は、光ファイバー分光器を使用して太陽光の物理測定を行うもので、安価で設置や維持も容易なため観測網の飛躍的に拡充され、地球温暖化問題に貢献することが出来ます。

(担当:営業支援グループ)



陽江市地方気象台での放球の様子

世界気象機関(WMO)主催 「ラジオゾンデ国際比較観測」参加！

中国広東省陽江市で行われた「ラジオゾンデ国際比較観測」に、当社から担当技術者2名が参加しました。

世界気象機関(WMO)主催の5年に一度開かれる国際比較では、各社ゾンデの観測性能を比較し、性能レベルの維持・改善・向上を図ることを目的としています。

参加国は、フィンランド、アメリカ、スイス、ドイツ、フランス、南アフリカ、韓国、中国、そして日本を含めた計9ヶ国でした。

日本は、明星電気一社のみが参加し、現業ゾンデ部門と基準ゾンデ部門にエントリーしました。

明星電気は、国際比較観測に参加していくことでゾンデの性能向上を図ることにより、世界のゾンデ市場をリードしていくことを目指します。

(当社営業担当:第一営業部 長谷田 光俊)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。